

築堤護岸詳細設計現地踏査チェックシート（案）

本照査票は築堤護岸詳細設計の現地踏査について基本的な確認項目を示したものである。
したがって、各々の設計の特徴や現地状況を踏まえ、適宜項目を追加し運用するものとする。

項目	主な内容	対象	確認	備考
現地踏査の準備	立ち入り身分証明書の取得, 発注者への踏査実施の連絡及び注意事項の確認			
	河川管理者(出張所)、市町村担当者、地元等への連絡・許可			
	踏査手順等の立案と機材準備			
	現地状況に応じた安全対策、安全装備等の準備			
設計条件の把握	河川特性(上下流を含む)の把握 ①河道セグメント・河床材料、②蛇行特性、③水深、④植生 ⑤上下流の護岸形式			
	考慮すべき特殊条件の確認（水衝部、旧川跡、漏水部、軟弱地盤）			
	設計区間及び周辺の地形、地質、植生状況を把握			
	現況堤防及び周辺の利用形態 ①天端、小段、法尻 ②高水敷・堤内地土地利用、水面利用（船舶等）			
	施工により影響を与える用排水系統の確認 ①管理者、流向、断面規模の確認 ②対象流域及び流末の状況確認			
	設計区間にアクセス可能な道路の状況把握 ①管理者、幅員、舗装の状況 ②利用状況、交通規制の確認			
	支障または影響をおよぼすこととなる施設の確認 ①坂路、階段、電柱、支障家屋、その他の構造物などの確認			
	現況用地境界、河川区域・河川保全区域境界の確認			
既往資料の現地確認	既往成果等における設計上のコントロールポイントとなっている地形・地物の確認			
	既往の対外協議資料または、環境配慮事項の現地確認			
施工における制約条件の把握	資機材の搬入路における制約条件の把握 ①幅員、平面線形、縦断勾配、視距などの道路状況及び交通状況、交通規制、沿道土地利用状況および橋梁の荷重条件などの確認			
	工事用仮設道路の必要性の確認			
	施工ヤード、施工スペースの確認			
	締切り・瀬替え・濁水処理における制約条件の確認			
	工事が影響をおよぼす可能性のある自然環境・生態等の確認 施工時の振動・騒音について建設機械の制約条件の有無を確認			
追加調査の必要性の確認	現地踏査で以下の項目が把握された場合は、追加測量の必要性および測量の種別、位置、範囲を確認 ①既往測量成果と現地の地形・地物が不整合な場合（家屋や構造物など） ②計画上のコントロールポイントが既往の測量成果では不明確な場合 ③現況用排水路の変化点や主要な敷高などが不明な場合			
	軟弱地盤対策、盛土の安定、護岸設計などの検討に必要な追加地質調査の項目や位置の確認			

